

趣旨と目的

教育大綱および新学習指導要領の求める教育の理念に基づき、一人ひとりの基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、社会で生きていくために必要な「読み解く力」を育成し、滋賀の子ども一人ひとりの学ぶ力を高め、確かな学力の向上を図る。

現状と課題

- 「読み解く力」を育成するために、教員の指導力の向上を図るとともに、子どもたちが「読み解く力」を実践する取組を進める必要がある。
- 平成31年度全国学力・学習状況調査において、様々な情報を関連付けて整理したり、既習の知識を活用したりすることに課題がある。

教員の指導力の向上

「読み解く力」向上のための研究・研修事業

【「読み解く力」プロジェクト研究】

研究委員が、「読み解く力」向上のための授業のあり方について実践的な研究を進め、効果的な指導方法の開発を行う。

【「読み解く力」向上研修】

推進委員が研修と実践の往還を通して、児童生徒の「読み解く力」向上を目指した授業改善を行う。また、所属する学校や近隣地域の学校改善にも役立つよう研究成果の一層の普及を図る。（幼小中教育課・総合教育センター）

学びに向かう力推進事業

校種間（幼児教育と小学校）の円滑な接続を意識した系統的な指導や教育課程の編成・実施を目指すとともに、それを通して、子ども一人ひとりが自ら進んで課題に向き合い、解決することができる指導方法の工夫改善することにより、目指す資質・能力の育成につなげる。（幼小中教育課・教職員課）

学ぶ力向上学校訪問

学校訪問等により、校内研究の活性化を図り、教員の指導力についてきめ細かく指導する。（幼小中教育課）

子どもの基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の向上

基礎・基本の定着

学びの基礎ステップアップ事業

「読み解く力」を問う問題も含む「学びの基礎チャレンジ」（国、算・数）を作成・実施し、児童生徒一人ひとりの課題を把握する。また、「ガッテンプリント」の充実と有効な活用を図る。（幼小中教育課）

個に応じた少人数指導推進事業

つまずきの起こりやすい学年で算数・数学の習熟度別少人数学習を実施し、一人ひとりの学習状況に応じた指導と支援を行う。また、一人ひとりの学習状況に応じた学びの定着を図る。（幼小中教育課・教職員課）

基礎・基本の活用

子どもの「読み解く力」活用事業

【科学の甲子園ジュニア】【NIE教育に新聞を】

課題について「読み解く力」を活用しながら、科学的に探究したり、文章や情報を正確に読み解いたりする学習活動を行う。（幼小中教育課）

年次計画

2019

2020

2021

教員

「読み解く力」の周知・授業研究

研究成果の一層の普及・効果的な指導方法の開発

取組の成果および課題の検討

子ども

子ども自身が「読み解く力」を発揮する学習活動の実施

学校

「学ぶ力向上学校訪問」として、指導主事等が県内小中学校を年2回以上訪問し、授業改善に向けた学校の取組の検証と改善について指導助言